

第9回動物福祉市民講座 質疑応答

先生方へ寄せられた質問へのご回答をいただきました。

ご回答ありがとうございました。

山梨先生からのご回答

<質問1>

- 採食エンリッチメントとして骨や皮がついたままの肉を与える、という取り組みを紹介していましたが骨や皮がついたままの肉は動物がどのくらいの量を食べたのかの把握がしにくいのではと感じました。エンリッチメントとして与えた肉は1日の給餌量としてカウントはされているのでしょうか

【山梨先生】

与える量はあらかじめ計量しています。時間はかかるものの、だいたい食べきる量を与えています。羽や毛などは残したり、吐き出したりします。

屠体給餌は1週間に1回など、毎日ではないので、動物の状態を見ながら量を調整します。確かに、屠体給餌を毎日するとなると、消化率や栄養換算が難しくなるので、慎重になるところがあります。

<質問2>

- アウトプットの評価方法に消化率という項目がありましたが、これは与えた餌の量に対して排泄物中の未消化の餌の量を測定することで評価を行う、という認識で相違ないでしょうか

【山梨先生】

基本は「摂取した栄養成分量」と「糞として出てきた栄養成分量」の差で、(見かけの)消化率を評価します。摂取した餌量を正確にはかるのが時に難しいこともあるため、実際に測定するうえでは様々な配慮が必要になります。

<質問3>

- マレーバクに心拍計をつけて採血の際のストレスを測定するデータを見せていただきましたが、バクを研究対象に選んだ理由としては「本動物の気性が穏やかで装置の取り付けが容易なため」と考えてよろしいのでしょうか

【山梨先生】

なかなか身体に計測機器をつけておける動物は少ないのですが、バクはたまたまブラシで不動化できることと、つけた機器をあまり気にしないという稀有な存在です。実際に千葉市動物公園で採血のトレーニングをしていたことも理由のひとつで、こうした要素が重なった現場に出会ったため、調査をすることにしました。

<質問4>

- 動物園や水族館は学術機関の側面を持つことから考えると、文部科学省の策定した飼養保管基準に基づいて運用されているという認識だったのですが、現状では動物園や水族館はどの省庁の法律に基づいて運用が行われているのでしょうか

【山梨先生】

動物園・水族館の運用に関わる法令は、目的ごとに所管が分かれており一元化されていません。たとえば、動物の適正飼養や展示動物の取扱いの枠組みは環境省所管の動物愛護管理法に基づき、特定動物については飼養・保管方法や施設等に関する基準が定められています。さらに、希少種の取引や個体の移動には種の保存法に基づく手続が関係し、登録博物館等の制度を採る施設では博物館制度（文化庁の情報提供を含む）との関係も生じます。このように動物園の運用は、複数の省庁・制度にまたがって整理する必要があります。

田中先生からのご回答

<質問 1>

動物愛護法でのエキゾチックアニマルへの規制が進まないことを危惧しています。個人的にはホワイトリストは必須と思うのですが、一部の方からは、規制しても別の動物を輸入するだけで意味がないとの意見も耳にします。犬猫以外の飼育について「異常事態」とも言える現状を、どうしたら動物の犠牲を減らし、人の意識やモラルを改善できるのでしょうか。

【田中先生】

ご質問ありがとうございます。非常に難しいご質問で、私もこの答えを模索しているところです。私なりの考えなのですが、アニマルカフェについて、多くの日本の方々は関心がないのだと思います。動物福祉講座を受講されるような方々は動物福祉に対してそもそも意識の高い方々ばかりなので、この問題について危惧されており、私も大変危惧しております。しかし、日本全般を考えると、日本国民の多くの方々が、アニマルカフェの問題なんてほとんど知らないと思います。我々が調査で視察に行っても、お客様はほとんど海外の方です。日本の方々に、もっと動物福祉の問題全般について関心を持ってもらうためには、動物がもっと身近な存在であることが大事だと私は考えています。動物が身近な存在であれば、動物の問題についてももっと身近に考えてもらえるのではないかと思います。ですが、日本社会において、犬猫でさえ社会の一員として受け入れられていません。日本での犬の飼育率は1割、猫は3割です、犬猫でさえ身近な存在ではないのが日本の現状です。

人の意識やモラルを変えるには、小学生等の初等教育も大事だと思っています。子供のころから、動物福祉や動物の生態、動物との共存の在り方等をきちんと学ぶ機会があれば、大人になった時の意識は変わっていくのではないかと思います。

何か一つ解決策があるのではなく、色々な方面から働きかけをしていかないといけない問題なんだと思います。

いずれにしろ、エキゾチックカフェの規制は必須課題だと思います。国民の意識が変わるのが待っていられない問題だと思っています。

きちんとしたお答えになっておらず、とりとめのない文章になってしまい、申し訳ありません。引き続き、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。